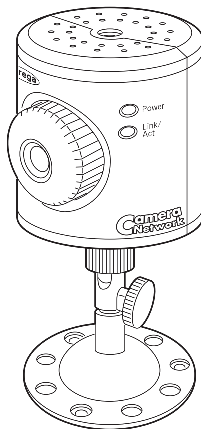
corega

CG-NCMNV2
CG-WLNCMNGV2

お使いの手引き



Y613-07733-01 Rev.B

はじめに

このたびは、「CG-NCMNV2」および「CG-WLNCMNGV2」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本書は、本商品を正しくご利用いただくための手引きです。必要なときにいつでもご覧いただけるように、大切に保管してください。また、本商品に関する最新情報（ソフトウェアのバージョンアップ情報など）は、弊社のホームページでお知らせしておりますのでご覧ください。

http://corega.jp/

本書の読み方

●記号について

本書で使用している記号や表記には、次のような意味があります。

注意	操作中に気をつけていただきたい内容です。必ずお読みください。	メモ	補足事項や参考となる情報を説明しています。

●表記について

本商品	CG-NCMNV2およびCG-WLNCMNGV2のことです。
「　」−「　」−「　」	「　」で囲まれた項目を順番に選択することを示します。
[　]	[　]で囲んである文字は、画面上のボタンを表します。 例：OK → [OK]
LANケーブル	本書では、UTPケーブル（アンシールド･ツイストペア･ケーブル）のことを指します。本製品の接続にはUTPケーブルを使用してください。
Windows XP	Microsoft® Windows® XP Professional operating system 日本語版およびMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating system 日本語版 のことです。

Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system日本語版のことです。
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system日本語版のことです。
Windows 98SE	Microsoft® Windows® 98 Second Edition operating system日本語版のことです。

※本書では、複数のOSを「Windows XP/2000」のように併記する場合があります。

●イラスト/画面について

本文中に記載のイラストや画面は、実際と多少異なることがあります。

導入ガイド

本商品をネットワークに接続して、画像を見られるようにするために必要な作業と、本書の参照箇所を説明しています。このガイドに沿って作業を進めてください。

1 本商品のご紹介（→P.9）

本商品をご使用になる前に、本商品の特長をご紹介します。

2 必要なものを準備します（→P.11）

接続するネットワークにあわせて、ルータやハブなど必要な機器を準備してください。また、ルータのIPアドレスや、プロバイダのユーザID、パスワードなど、接続するネットワークの設定をご確認ください。

3 本商品をネットワークに接続します（→P.17）

本商品の接続例を紹介しています。接続例にあわせて本商品をルータやモデムなどに接続して電源を入れます。

4 パソコンに「NCSetup」をインストールします（→P.21）

本商品の基本設定を行うために、設定用のパソコンにユーティリティディスクから「NCSetup」をインストールしてください。

5 本商品の基本設定をします（→ P.24）

本商品の基本設定をします。ご自分の接続例にあった説明をご覧ください。

6 無線 LAN の設定をします（CG-WLNCMNGV2 のみ）（→ P.34）

本商品を無線 LAN ネットワークで使用する場合の設定をします。

7 パソコンに「NCView A」をインストールします（→ P.39）

本商品の画像を見るための「NCView A」を、設定用パソコンにインストールしてください。

8 画像が見られるか確認します（→ P.43）

「NCView A」にカメラを登録し、画像が見られるか確認してください。

9 撮影したい場所に本商品を設置します（→ P.45）

ネットワーク上から画像が見られることが確認できたら、本商品を撮影したい場所に設置してください。

10 インターネット経由で画像を見てみます（→ P.46）

ルータの設定を行って、インターネット経由で本商品の画像を見られるようにします。設定が完了したら、「NCView A」で画像を見てみます。



手順8までが完了すると、本商品の設定を行ったユーザ（所有者）が画像を見られるようになります。ネットワークに接続している他のユーザが本商品の画像を見るには、本商品に接続できるようにユーザ登録をする必要があります。詳しくは、付属のユーティリティディスクに収録されている「詳細設定ガイド」の「カメラに接続できるユーザを制限する〈ユーザ管理〉」をご覧ください。また、各ユーザはパソコンに「NCView S」をインストールしてカメラを登録する必要があります。詳しくは、弊社ホームページより「NCView S 取扱説明書」をダウンロードしていただき、ご覧ください。

お願い

・本商品の利用方法によっては、本商品と接続する他のネットワーク機器（ルータ、モデムなど）の設定変更が必要な場合があります。各機器の取扱説明書を確認して、設定を行ってください。
・本書では、Windows XP を例に説明しています。ご使用の OS や機器によって、画面や手順が異なることがあります。
・接続、設定が正しくできないときは、付属のユーティリティディスクに収録されている「詳細設定ガイド」の「PART4 トラブルや疑問があったら」をご覧ください。
・本書の手順で紹介している例の画像は一例です。実際のカメラにはお客様が設置した環境の画像が表示されます。

付属マニュアルのご紹介

本商品には、次のマニュアルが付属しています。各マニュアルをよくお読みになり、本商品を正しくお使いください。

- **はじめにお読みください**
  安全にお使いいただくためのご注意や、同梱品の内容、各部の名称と役割、サポートに関する情報などを説明しています。本商品をお使いになる前に必ずお読みになり、正しくお使いください。

- **お使いの手引き（本書）**
  本商品の接続方法や、基本的な設定などを説明しています。

- **詳細設定ガイド（PDF ファイル：ユーティリティディスクに収録）**
  本商品や管理用ソフトウェア「NCView A」の詳細な機能説明や、トラブルシューティングなどを説明しています。お使いの手引きで基本的な設定が完了したあと、必要に応じてご覧ください。

- **NCView S取扱説明書（PDFファイル：ユーティリティディスクに収録）**
  画像閲覧ソフトウェア「NCView S」の使用方法などを説明しています。「NCView S 取扱説明書」は弊社ホームページからダウンロードすることができます。必要に応じて各ユーザに配布してご利用ください。

目 次

PART4 本商品を使用する 39

PART 1

本商品のご紹介

本商品の特長

本商品は、デジタルズーム機能を搭載したネットワークカメラです。カメラのみでの映像配信が可能で、ホームセキュリティ、赤ちゃん、ペットの観察、遠隔地の状況把握などのさまざまなシーンにお使いいただけます。

■特長

- ・ネットワークに対応。カメラのみでの映像配信可能。
- ・「NCSetup」のウィザード形式による簡単セットアップ。
- ・「NCView」によるモニタリング機能に加え、録画やモーション感知、カメラスキャンを搭載。
- ・ネットワークへの配信用として、最大64件のアクセスID、パスワードの登録が可能。
- ・撮影した画像をE-mailで送信、FTPサーバにアップロード可能。
- ・携帯電話からの画像の閲覧が可能（静止画像のみ）。
- ・別売りの接写レンズ（CG-NCLENSC）、広角レンズ（CG-NCLENSW）が使用可能。
- ・別売りのPoEアダプタ（CG-POEADP2）に対応。

さらに「CG-WLNCMNGV2」には次のような特長があります。

- ・無線LAN規格は、IEEE802.11g/bに対応。
- ・無線LANセキュリティはWEP（64bit/128bit）およびWPA-PSK（TKIP）をサポート。
- ・別売りのオプショナルアンテナに対応。

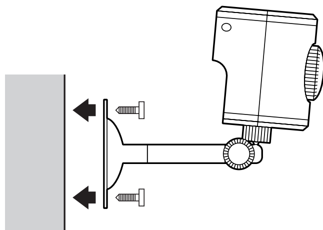
■付属のネジおよびアンカの使い方

付属のネジおよびアンカを使用して、本商品を壁などの垂直な面に取り付けることができます。取り付けの際には、次の手順で行ってください。



- LANケーブルと専用ACアダプタのコネクタが本商品に無理なく接続できる位置に取り付けてください。
- 使用中に本体表面のLEDの状態が確認できる位置に取り付けてください。

1　本商品に付属のスタンドを取り付けます。取り付け方法については、付属の「はじめにお読みください」をご覧ください。
2　取り付ける壁などに対し、付属のネジをスタンドの3箇所のネジ穴に合わせて取り付けます。取り付け場所は壁に限らず、天井などにも取り付けることができますので、お使いの環境に合わせて取り付けてください。





石膏ボード、ベニヤなど中空になっている壁で、ネジが取り付けづらい場合は、付属の壁掛けキットのプラスチックアンカを併用します。ネジを取り付ける位置に、きりやドリルなどで穴を開けておき、プラスチックアンカをかなづちで軽くたたいて壁に埋め込みます。穴はプラスチックアンカがやっと入る程度の大きさにしてください。穴が大きすぎると、がたつきの原因となります。また、プラスチックアンカを取り付ける際には、本書の付録（P.58）にプラスチックアンカ取り付け用ネジ穴ガイドを記載しておりますので、コピーして切り取ってお使いください。

PART 2 ご使用になる前に

必要なものを準備する

接続するネットワークにあわせて、ルータやハブなど必要な機器を準備してください。

■次の条件を満たすパソコン

「NCSetup」や「NCView A」をご使用になる前に、あらかじめパソコンがネットワークに接続できるよう設定をしておいてください。

項　目	条　件
CPU	PentiumIII 450MHz以上
メモリ	128Mバイト（推奨：256Mバイト以上）
解像度	800 × 600 ドット以上
OS	Windows XP/2000/Me/98SEのいずれかがインストールされていること
ネットワーク	10BASE-T/100BASE-TXに対応した有線LAN、またはIEEE802.11g/b規格に対応した無線LANに対応していること
プロトコル	TCP/IPがインストールされていること（特別な理由で削除していない限り、標準でインストールされています）



Webブラウザから画像（動画）を見るには、Java Plug-in 1.3.1_0（Java 2 Runtime Environment, Standard Edition（JAE））以上が必要です。Webブラウザから画像を見る方法は、ユーティリティディスクに収録の「詳細設定ガイド」をご覧ください。

■LANケーブル

カテゴリ５のLANケーブルをご用意ください。本商品の設置場所にあわせて、十分な長さを準備してください。



LANケーブルはコレガ製品をお勧めいたします。

■ルータ、ハブなど

ネットワーク構成にあわせて、必要なものを準備してください。本商品の接続、設定には次のような情報が必要となりますので、接続するネットワークの設定を確認して控えておいてください。また、本商品のIPアドレスも決めておいてください。

・ルータ（LAN側）、設定用パソコンのIPアドレス
・サブネットマスク、DNSサーバのアドレス
・インターネット接続用のユーザ名、パスワード（フレッツ・ADSLなどでモデムに直接接続する場合）

本商品の接続例

本商品を接続してネットワーク上から画像を見るには、次のような方法があります。ご自分のネットワーク環境に合った接続方法を選んでください。

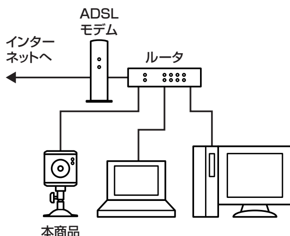


次に示す図は一例です。実際にネットワークに本商品を接続する場合、図とは異なる場合があります。

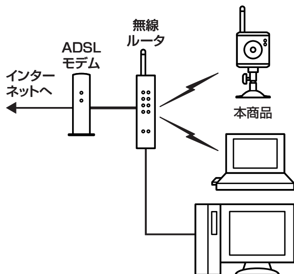
■接続例 1…ルータを使ってインターネットに接続する

ルータを使ってインターネットに接続します。本商品はルータに接続します。インターネット上から本商品の画像を見る場合は、ルータの設定が必要です。ルータ機能付きのモデムを使用している場合は、ルータの代わりに、ハブや無線アクセスポイントを使用して、同じように接続することもできます。

■CG-NCMNV2の接続例



■CG-WLNCMNGV2の接続例



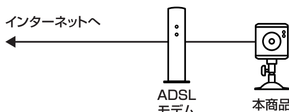


はじめに本商品の設定を行う必要があります。設定方法については「PART3 本商品をネットワークに接続する」（P.17）をご覧ください。

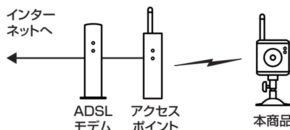
■接続例2…モデムおよびアクセスポイントを使ってインターネットに接続する

モデムにLANケーブルを使って直接接続するか、CG-WLNCMNGV2で無線接続する場合は、アクセスポイントを経由してモデムと本商品を接続します。インターネット上から本商品の画像を見る場合は、本商品の設定が必要です。

■CG-NCMNV2の接続例



■CG-WLNCMNGV2の接続例



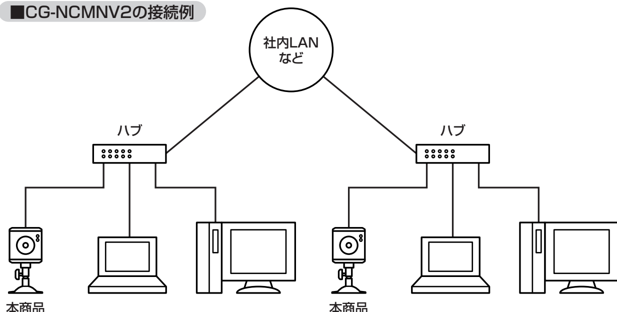


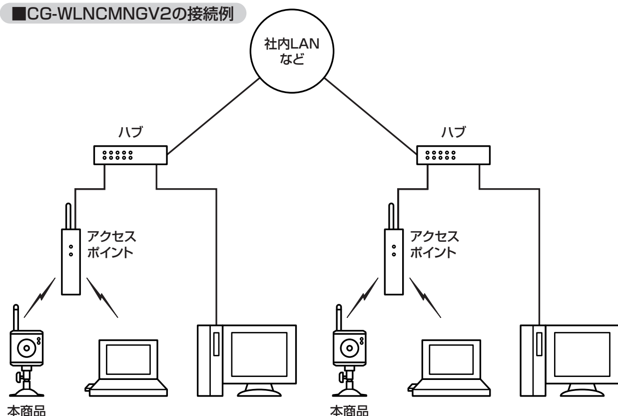
はじめに本商品の設定を行う必要があります。設定方法については「PART3 本商品をネットワークに接続する」（P.17）をご覧ください。

■接続例3…ハブを使って社内LANなどに接続する

社内LANなど、LAN内のみで本商品を使用する場合（インターネットに接続しない場合）は、有線接続する場合はハブに接続し、CG-WLNCMNGV2で無線接続する場合は、アクセスポイントに接続します。

■CG-NCMNV2の接続例





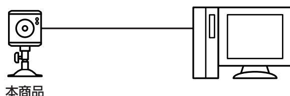


はじめに本商品の設定を行う必要があります。設定方法については「PART3 本商品をネットワークに接続する」（P.17）をご覧ください。

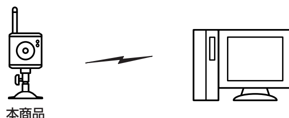
■接続例 4…本商品とパソコンを直接接続する

本商品とパソコンを直接接続して画像を見ることもできます。CG-WLNCMNGV2 で無線接続する場合は、本商品とパソコンをアドホックモードで接続してください。

■CG-NCMNV2の接続例



■CG-WLNCMNGV2の接続例





- まず、パソコンと直接有線接続して（P.20）本商品の設定をしてください。
- アドホックモードについては、ユーティリティディスクに収録されている「詳細設定ガイド」の「PART3 Web ブラウザでカメラの設定をする」の「無線の設定をする」をご覧ください。

PART 3

本商品をネットワークに接続する

本商品をお使いのネットワークに接続する前に、本商品と設定用パソコンを接続して本商品の設定をします。お使いになるネットワーク環境に合わせて本商品の設定をしてください。



- CG-WLNCMNGV2を無線LANで利用する場合も、最初の設定は有線接続で行ってください。
- 接続を始める前に、本商品とパソコンの電源を切るか、電源コンセントから抜いておいてください。
- 電源はたこ足配線にしないでください。
- 必ず、付属のACアダプタを使用し、AC100Vの電源コンセントに接続してください。
- 本商品には、電源スイッチがありません。ACアダプタのACプラグを電源コンセントに接続した時点で電源が入ります。ACプラグを電源コンセントから抜くと、電源が切れます。
- ACアダプタのACプラグを電源コンセントに差し込んだまま、DCプラグを抜かないでください。感電事故を引き起こす恐れがあります。

既存のネットワーク環境を調べる

本商品にIPアドレスを設定する前に、お使いのネットワークの環境を調べます。次の手順でデフォルトゲートウェイ（ルータ）のIPアドレスから既存のネットワークアドレスを確認します。必ずルータにパソコンを接続してインターネットに接続できる状態で行ってください。

デフォルトゲートウェイを確認することで使用しているネットワークが分かります。デフォルトゲートウェイの IP アドレスの３区切り目までは固定ですので、４区切り目が使用できる IP アドレスです。

例１：デフォルトゲートウェイが 192.168.1.1 の場合には、192.168.1.XXXがネットワークカメラのIPアドレスに使用できます。
例２：デフォルトゲートウェイが 192.168.11.1 の場合には、192.168.11.XXXがネットワークカメラのIPアドレスに使用できます。



- **ルータ機能のないモデムにカメラを直接接続する場合には、「本商品とパソコンを接続する」に進んでください。**
- **例で示しているの「XXX」は他のネットワーク機器で使用していない「1 ～ 254」までの値です。**

■ Windows XP/2000 の場合

1　「スタート」－「ファイル名を指定して実行」をクリックし、「cmd」とキーボードで入力してエンターキーを押します。
2　「コマンドプロンプト」が表示されたら「ipconfig」と入力し、Enterキーを押します。

```
Microsoft Windows XP [Version 5.1.2600]
(C) Copyright 1985-2001 Microsoft Corp.

C:¥Documents and Settings¥corega>ipconfig
```

「ipconfig」と入力します。



「C:¥Documents and Settings¥corega」の部分は、お使いの環境によって表示が異なります。

3　次の図の部分の IP アドレスをメモした後、画面を閉じます。

```
Ethernet adapter ローカル エリア接続:

        IP Address. . . . . . . . . . . . : 192.168.1.11
        Subnet Mask . . . . . . . . . . . : 255.255.255.0
        Default Gateway . . . . . . . . . : 192.168.1.1
```

この部分をメモします。

■ Windows Me/98SE の場合

1 「スタート」−「ファイル名を指定して実行」をクリックし、「winipcfg」とキーボードから入力て［OK］をクリックします。
2 「IP 設定」の「▼」をクリックし、表示されたものの中からお使いの LAN アダプタを選択します。
3 LAN アダプタを選択すると、「IP 設定」に LAN アダプタの情報が表示されますので、図の②の IP アドレスをメモします。

3



①ご使用のLANアダプタを選択します。
※画面は一 例です。実際にはお使いのLANアダプタ名が表示されます。

②デフォルトゲートウェイのIPアドレスを確認します。

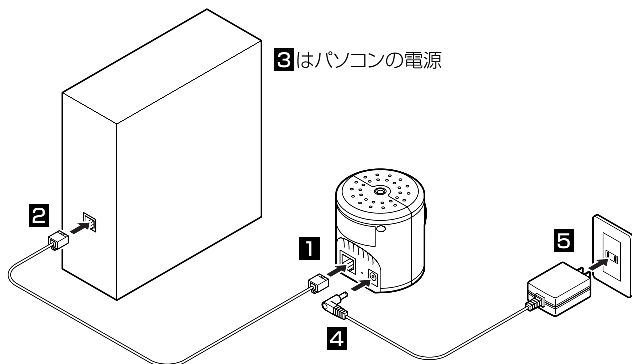
4 ［OK］または［閉じる］をクリックして画面を閉じます。

以上でデフォルトゲートウェイの確認は終了です。



ここで調べたデフォルトゲートウェイのIPアドレスは、本商品の IP アドレスを設定する際に必要となります。詳しくは「本商品の基本設定をする」の手順5（P.27）をご覧ください。

本商品とパソコンを接続する

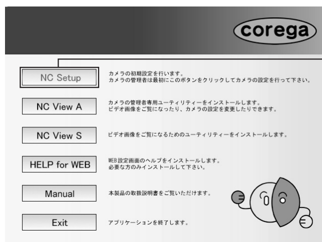


1　LANケーブルのコネクタを、本商品背面のLANポートに接続します。
2　LANケーブルのもう一方のコネクタを、パソコンのLANポートに接続します。
3　パソコンの電源を入れます。
4　ACアダプタのDCコネクタを、本商品背面のDCジャックに接続します。
5　ACアダプタのACプラグを、電源コンセントに接続します。

「NCSetup」をインストールする

本商品の基本設定を行うためのソフトウェア「NCSetup」を、設定に使用するパソコンにインストールします。

1 パソコンのCD-ROM ドライブに、ユーティリティディスクをセットします。セットすると次のような画面が表示されますので、[NCSetup] をクリックします。画面が自動で表示されない場合は、「マイコンピュータ」のCD-ROM ドライブのアイコンをダブルクリックしてください。



2 「InstallShield Wizard」画面が表示されますので、[次へ] をクリックします。

3 「使用許諾契約」の画面が表示されますので、製品使用許諾契約のすべての条項に同意できる場合は [はい] をクリックします。

4 「インストール先の選択」画面が表示されますので、[次へ] をクリックします。ここで「NCSetup」のインストール先を変更したい場合は、[参照] をクリックしてインストール先を変更してください(通常は変更の必要はありません)。

5 「InstallShield Wizardの完了」画面が表示されたら、[完了] をクリックします。

以上で「NCSetup」のインストールは完了です。続けて「本商品の基本設定をする」にお進みいただき、本商品の基本設定を行ってください。



本商品を初めて設定する場合、本商品と設定用パソコンだけを接続して設定してください。

設定用パソコンのIPアドレスを設定する

設定用パソコンの IP アドレスを次のように設定します。

IP アドレス	192.168.1.3
サブネットマスク	255.255.255.0



パソコンの IP アドレスを変更する前に、必ず IP アドレスの設定を控えておいてください。設定完了後にパソコンの設定を元に戻す際に必要です。

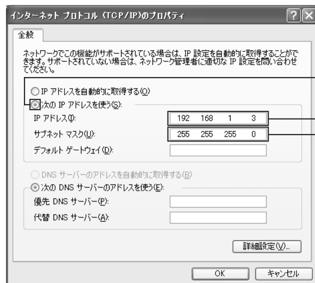
■ Windows XP/2000 の場合

1 「スタート」－「コントロールパネル」－「ネットワークとインターネット接続」をクリックし（Windows 2000 の場合は「スタート」－「設定」－「コントロールパネル」－「ネットワークとダイヤルアップ接続」）、ネットワーク接続を開きます。

2 「ローカルエリア接続」を右クリックして、「プロパティ」を選択します。

3 「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択し、[プロパティ] をクリックします。

4 「次の IP アドレスを使う」をチェックし、IP アドレスをの欄に「192.168.1.3」、サブネットマスクの欄に「255.255.255.0」と入力します。



5 ［OK］をクリックして画面を閉じます。

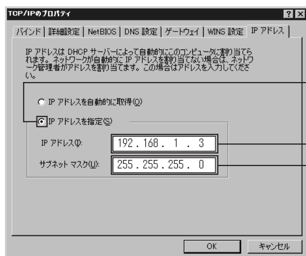
■ Windows Me/98SE の場合

1　「スタート」－「設定」－「コントロールパネル」をクリックします。
2　「ネットワーク」をダブルクリックします。



Windows Me の場合、よく使うコントロールパネルのオプションだけが表示されているときは、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」をクリックすると、「ネットワーク」が表示されます。

3　「ネットワークの設定」タブをクリックし、「現在のネットワークコンポーネント」の欄にある「TCP/IP －＞XXXXX（使用するネットワークアダプタ名）」を選択して[プロパティ]をクリックします。
4　「IP アドレスを指定」をチェックし、IP アドレスをの欄に「192.168.1.3」、サブネットマスクの欄に「255.255.255.0」と入力します。



①「IPアドレスを指定」をチェックします。
②「192.168.1.3」と入力します。
③「255.255.255.0」と入力します。

5　[OK] をクリックすると「ネットワーク」画面に戻りますので、ここでも [OK] をクリックし、画面を閉じます。

6　画面の指示に従ってパソコンを再起動します。

以上でパソコンの IP アドレスの設定は終了です。

3

本商品の基本設定をする

「NCSetup」を起動して、本商品の基本設定を行います。設定の際には、お使いのネットワーク構成にあった説明をご覧ください。

1 インストール直後は自動で「NCSetup」が起動しますが、起動しない場合や、新しく設定する場合は、「スタート」－「すべてのプログラム」－「corega Network Camera」－「NCSetup」－「corega NCSetup」をクリックします。

2 カメラの検索が始まり、検索が終了すると「接続中カメラ」画面が表示されますので、設定を行いたいカメラを選択して［次へ］をクリックします。



設定したいカメラがどれにあたるかは、デバイス名やMACアドレスをもとに探してください。本商品のデバイス名は、工場出荷時には、次のように設定されています。
「NC○○○○○○」
○の部分には、MACアドレスの下6桁が入ります。本商品のMACアドレスは、本商品背面に記載されています。

［次へ］をクリックします。



- **本商品が表示されないときは、［再検索］をクリックして、検索しなおしてください。それでも表示されないときは、本商品とパソコンが正しく接続されているか、セキュリティソフトなどによって通信を遮断してしまっていないか確認してください。**
- **IPアドレス変更の画面が表示される場合にはパソコンのIPアドレスが正しく設定されていません。「設定用パソコンのIPアドレスを設定する」を再度確認してください。**

3　本商品の名前を入力して、［次へ］をクリックします。

corega NCSetup

デバイス名

デバイス名:

NC573C01

本製品のデバイス名(カメラ名)を設定します。
半角英数・半角記号で32文字以内で入力してください。

戻る　次へ　キャンセル

本商品に任意の名前をつけます。設置場所や被写体など分かりやすい名前をつけてください。製品名を入力する必要はありません。最大入力文字数は、半角英数字で32文字までです。

［次へ］をクリックします。

4　所有者用のログイン名とパスワードを入力して、［次へ］をクリックします。

corega NCSetup

ログイン設定

ログイン名:

新しいパスワード:

パスワードの確認:

本製品の詳細設定(WEB設定)にアクセスする際のログイン名とパスワードを設定します。
ログイン名、パスワードともに半角英数字のみで入力してください。
ログイン名：12文字以内
パスワード：8文字以内

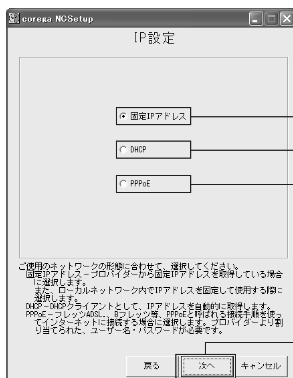
戻る　次へ　キャンセル

所有者以外のユーザが、本商品の設定内容を変更できないようにするため、所有者のログイン名、パスワードの設定をします。
ログイン名は半角英数字12文字以内で、パスワードは半角英数字8文字以内で入力してください。［スペース］、"、'、#、&、%、=、+、?、<、>、:は使えません。

［次へ］をクリックします。

3

5　本商品のIPアドレスの取得方法を選択し、［次へ］をクリックします。



プロバイダから本商品用にグローバルIPアドレスを取得している場合、またはLAN内で本商品に固定IPアドレスを設定する場合に選択します。

ネットワーク内のDHCPサーバからIPアドレスを自動的に取得する場合に選択します。

本商品とモデムを直接接続して、PPPoEでインターネットに接続する場合に選択します。

［次へ］をクリックします。



ルータをお使いの環境では、本商品の IP アドレスを固定 IP アドレスでお使いになることをおすすめいたします。

PART2の「本商品の接続例」（P.13）の各接続例では、それぞれ次のようになります。

<table>
<tr><td rowspan="2">接続例1
ルータを使用してインターネットに接続する</td><td>LAN内で本商品に固定IPアドレスを設定する</td><td rowspan="2">固定IPアドレス</td></tr>
<tr><td>プロバイダから本商品用にグローバルIPアドレスを取得している</td></tr>
<tr><td rowspan="2">接続例2
直接インターネットに接続する</td><td>フレッツ･ADSL、Bフレッツなど、PPPoEでインターネットに接続する</td><td>PPPoE</td></tr>
<tr><td>Yahoo!　BBなど、DHCPでインターネットに接続する</td><td>DHCP</td></tr>
</table>

接続例3 ハブを使って社内LANなどに接続する	LAN内で本商品に固定IPアドレスを設定する	固定IPアドレス
	DHCPサーバを利用してIPアドレスを設定する	DHCP
接続例4 本商品とパソコンを直接接続する	本商品に固定IPアドレスを設定する	固定IPアドレス

6　手順5で選択した項目によって表示される画面が異なります。接続するネットワークに合わせて必要事項を入力し、[次へ]をクリックします。

■固定 IP アドレスを選択した場合

corega NCSetup

固定IPアドレス

固定IPアドレス

IPアドレス:　192.168.1.245

サブネットマスク:　255.255.255.0

ゲートウェイ:　0.0.0.0

DNSサーバーアドレス

優先DNSサーバー

0.0.0.0

代替DNSサーバー

0.0.0.0

ご使用のネットワークに合わせてIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNSアドレスの値を入力してください。

戻る　次へ　キャンセル

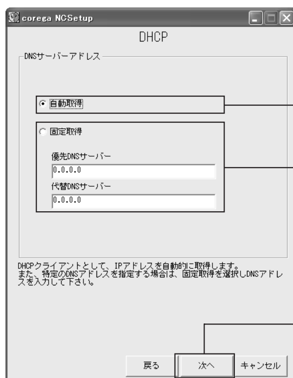
次のページの表を参考に、必要事項を入力します。

[次へ]をクリックします。

3

項目	入力例	説明
IP アドレス	192.168. 1.245	「既存のネットワーク環境を調べる」で確認したデフォルトゲートウェイのIPアドレスを元に、本商品にIPアドレスを設定します。 例1：デフォルトゲートウェイのIPアドレスが「192.168.0.1」の場合、ネットワークカメラのIPアドレスは「192.168.0.245」に設定してください。 例2：デフォルトゲートウェイのIPアドレスが「192.168.11.1」の場合、ネットワークカメラのIPアドレスは「192.168.11.245」に設定してください。 IPアドレスが他のネットワーク機器と重複してしまう場合には、「245」の部分をほかの値に変更してください。
サブネット マスク	255.255. 255.0	接続するネットワークのサブネットマスクのアドレスを入力します。特に問題がなければ「255.255.255.0」を使用してください。
ゲート ウェイ	192.168. 1.1	「既存のネットワーク環境を調べる」(P.17)で確認したデフォルトゲートウェイのIPアドレスを入力します。
優先 DNS サーバ	192.168. 1.1	LAN内にルータなどのDNSサーバが設置されている場合や、プロバイダからDNSサーバのアドレスを提供されている場合にアドレスを入力します。ルータを使用してインターネットに接続する場合は、通常はゲートウェイと同様の値を入力してください。また、代替DNSサーバが無い場合は、代替DNSサーバの入力欄を「0.0.0.0」にしてください。
代替 DNS サーバ	0.0.0.0	

■DHCPを選択した場合



3



- ルータを利用するときは、本商品に常に同じIPアドレスが割り当てられるよう、ルータの設定も必要です。設定についてはお使いのルータの取扱説明書をご覧ください。
- 本商品のIPアドレスは、固定にしておくほうが運用上便利です。
- ネットワーク内でIPアドレスが重複しないようにしてください。

■ PPPoE を選択した場合

corega NCSetup
PPPoE
PPPoE
ユーザー名:
パスワード:
DNSサーバーアドレス
自動取得
固定取得
優先DNSサーバー
0.0.0.0
代替DNSサーバー
0.0.0.0
プロバイダーから割り当てられたユーザー名/パスワードを入力してください。
DNSを固定取得する場合は、DNSサーバーアドレスを入力してください。
戻る　次へ　キャンセル

プロバイダから指定されたインターネット接続用のユーザ名(プロバイダによって呼び方が異なる場合があります)を入力します。

プロバイダから指定されたインターネット接続用のパスワードを入力します。

DNSサーバのアドレスをプロバイダから自動取得する場合は、こちらを選択します。

DNSサーバのアドレスをプロバイダから自動取得する場合は、こちらを選択します。

[次へ]をクリックします。



パスワードは画面上では「＊」で表示されます。入力ミスのないように注意してください。

7　必要な設定を行い、[次へ] をクリックします。

corega NCSetup
その他
ダイナミックDNS
有効　無効
DDNSサービス　Dyn DNS
ドメイン名
ユーザー名
パスワード
LEDコントロール
通常　消灯　ダミー
セカンドポート
有効　無効
セカンドポート番号　0
ダイナミックDNS－ダイナミックDNSの設定を行います。あらかじめ、本製品がサポートするダイナミックDNSへの登録が必要です。
注：ご使用のルーターにダイナミックDNS機能がある場合は、本製品ではなくルーターにダイナミックDNSの設定を行って下さい。（本製品のDDNS機能は無効に設定してください。）
セカンドポート－80番ポート以外の任意のポート(1024～65534)を設定することで、そのポートを使用して本製品にアクセスすることができます。
注：本製品をルーター下でインターネットに公開する場合は、ルーターにポート設定が必要です。
戻る　次へ　キャンセル

インターネット上から本商品の画像を見られるようにするには、次のページの表を参考に、接続例に応じて設定します。

本商品のPower LEDとLink LEDを使用する場合は「通常」、使用しない場合は「消灯」、ダミーモードにする場合は「ダミー」を選択します。

常に開かれているポート番号(80)とは別に、セカンドポート番号を使用する場合は、「有効」を選択し、セカンドポート番号を入力します。

[次へ]をクリックします。

●ダイナミックDNSの設定



・あらかじめダイナミックDNSサイトでサービスに登録手続きを行う必要があります。なお、ダイナミックDNSサイトへの登録は、お客様の自己責任で行ってください。登録に関して弊社では一切責任を負いませんので、ご了承ください。

・本商品で利用できるダイナミックDNSサイトは、「Dyn DNS」(無料)、「Ivy Network」(有料)、「@net DDNS」(有料)の3つのみです。他のダイナミックDNSサイトはご利用できません。

3

接続例 1…ルータを使用してインターネットに接続する場合

ルータ側で設定しますので、「無効」を選択してください。

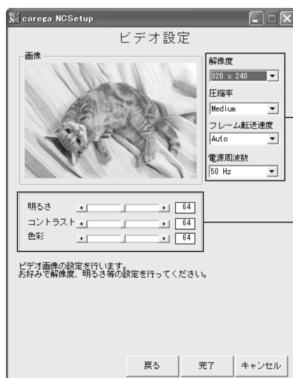
接続例 2…モデムに直接接続してインターネットに接続する場合

項目	入力例	説明
ダイナミックDNSサービス	−	登録したダイナミックDNSサイトを選択します。
ドメイン名	core-net.server.cc	ダイナミックDNSサイトで登録したドメイン名を設定します。入力できる文字数は64文字まで、種類は半角英数字のみで[スペース]、"、'、#、&、%、=、+、?、<、>、:は使えません。
ユーザー名	corega	ダイナミックDNSサイトで登録したユーザ名を設定します。入力できる文字数は64文字まで、種類は半角英数字のみで[スペース]、"、'、#、&、%、=、+、?、<、>、: は使えません。
パスワード	passwordxx	ダイナミックDNSサイトで登録したパスワードを設定します。



ダイナミックDNS、LEDコントロール、セカンドポートの設定について詳しくは、付属のユーティリティディスクに収録されている「詳細設定ガイド」の「URLを指定して画像を見る(ダイナミックDNSの設定)〈システム設定〉」「LEDの設定をする〈システム設定〉」「ポートの設定をする〈システム設定〉」をご覧ください。

8　しばらくすると、画像が表示されます。必要に応じて、解像度や明るさなどの設定を行い、［完了］をクリックします。



次の表を参考に、表示された画像を見ながら設定を行います。

※画像はイメージです

項目	説明
解像度	画像のサイズ（解像度）を設定します。単位はドット数で、横×縦です。
圧縮率	画像データの圧縮率を5段階に設定できます。「Very Low」を選ぶと画像の品質が上がり、ネットワークへの負荷が増えます。
フレーム	本商品から送信される画像の毎秒あたりの送信フレーム数（1秒間に画面を書き換える回数）の上限を設定します。数値が大きくなるほど画像が滑らかになり、ネットワークへの負荷が増えます。
電源周波数	本商品を利用する地域の電源周波数（50Hz：東日本／60Hz：西日本）を設定します。
明るさ	画像の明るさを設定します。数値を大きくすると明るさが増します。

項目	説明
コントラスト	画像のコントラストの調整をします。数値を大きくすると最も明るい部分と暗い部分の差が大きくなります。
色彩	画像の彩度を設定します。数値を大きくすると鮮やかになります。

9　設定が終了したら、設定用パソコンのIPアドレスの設定を元に戻します。

3

以上で本商品の基本設定は終了です。

ネットワークに有線で接続する

■ルータまたはハブに接続する場合

1　LANケーブルのコネクタを、本商品背面のLANポートに接続します。
2　LANケーブルのもう一方のコネクタを、ルータまたはハブのLANポートに接続します。
3　パソコンをルータまたはハブに接続します。
4　ACアダプタのDCコネクタを、本商品背面のDCジャックに接続します。
5　ACアダプタのACプラグを、電源コンセントに接続します。
6　接続が終了したら、設定用パソコンの電源を入れ、パソコンのIPアドレスをお使いの環境に合わせて元に戻します。IPアドレスの設定方法については、付属のユーティリティディスクに収録されている「詳細設定ガイド」の「Q&A」、「パソコンのIPアドレスを変更したい」をご覧ください。

■モデムに接続する場合

1　LANケーブルのコネクタを本商品背面のLANポートに接続します。
2　LANケーブルのもう一方のコネクタをモデムのLANポートに接続します。

3　モデムの電源を入れます。

4　本商品のACアダプタのDCコネクタを、背面のDCジャックに接続します。

5　本商品のACアダプタのACプラグを、電源コンセントに接続します。

ネットワークに無線で接続する(CG-WLNCMNGV2のみ)

CG-WLNCMNGV2をアクセスポイントや無線ルータに無線で接続するには、はじめにCG-WLNCMNGV2と設定用パソコンを有線で接続し（接続方法はP.20をご覧ください）、無線の設定を行います。設定には次の手順を行ってください。

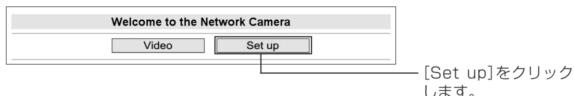


無線の設定も、無線で接続する前に有線接続で行ってください。LANケーブルは、設定が完了してから外してください。

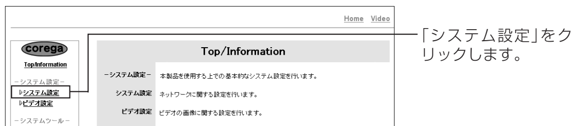
1　Webブラウザを起動し、アドレス欄に本商品のIPアドレスを入力し（例では工場出荷時の「192.168.1.245」を使用しています）、[移動] をクリックします。



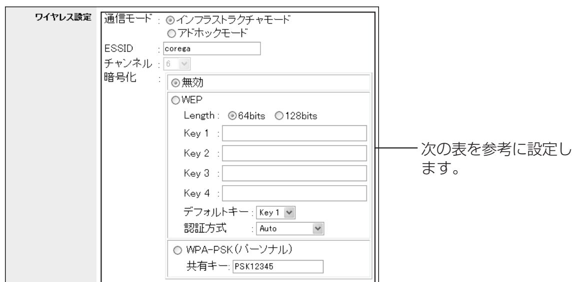
2　「Welcome to the Network Camera」画面が表示されます。[Set up] をクリックします。



3　ログイン画面が表示されたら、P.25の手順4で設定した所有者のログイン名とパスワードを入力し、ログインします。ログインすると本商品の設定画面が表示されますので、「システム設定」をクリックします。



4　お使いの環境に合わせて「システム設定」画面の「ワイヤレス設定」で、次のように設定します。



項目	入力例	説明
通信モード	－	アクセスポイントまたは無線ルータと通信する場合はインフラストラクチャモードを、パソコンと直接通信する場合はアドホックモードを選択します。
ESSID	corega	無線LANに接続する機器を識別する名前です。アクセスポイントや無線ルータ、または無線LANアダプタと同じESSIDを設定してください。ESSIDには、32文字以内の、半角英数文字および半角記号を使用できます。使用できる半角記号は、次の通りです。 ! " # $ % & ' ( ) * + , - . / : ; < = > ? @ [¥] ^ _ { ¦ } .

項目	入力例	説明
チャンネル	6	使用する電波の周波数（無線チャンネル）です。1 ～ 13の間で設定できます。アドホックモードで使用する場合は、使用する電波の周波数と、無線LANアダプタと同じチャンネルを設定します。工場出荷時は「6」に設定されています。インフラストラクチャモードで使用する場合はチャンネルを自動的に認識するので設定する必要はありません。
暗号化	－	通信内容の暗号化方式を選択します。アクセスポイントや無線ルータ、または無線 LAN アダプタと同じ暗号化方式を設定してください（工場出荷時は、暗号化はされていません）。 「無効」を選択すると、通信内容は暗号化されません。 「WEP」を選択後、「64bits」を選択すると64bit WEP が、「128bits」を選択すると 128bit WEP が利用できます。 「WPA-PSK（パーソナル）」を選択すると、WPA-PSKが利用できます。
WEP	－	通信内容を暗号化するための WEP キー（暗号キー）を設定します。アクセスポイントや無線ルータ、または無線 LAN アダプタと同じ WEP キーを設定してください。Key1 ～ Key4 のそれぞれについて、次のように WEP キーを入力します。 入力する文字数に過不足がないように注意してください。文字数が少ないと、WEP キーが正しく生成されず、正常に接続できません。

項目	入力例	説明
デフォルトキー	―	Key1 〜Key4 のうち、使用するキーを選択します。
認証方式	―	暗号化で使用する認証方式を選択します。 認証方式には「Open System」と「Shared Key」の2種類があります。アクセスポイントや無線ルータと同じものを選択してください。通常は、工場出荷時の「Auto」(自動設定)を選択します。
WPA-PSK (パーソナル)	―	WPA-PSK (パーソナル) で使用する共有キーを設定します。共有キーには、半角英数字 (0〜9、a〜z) で8〜63文字または、16進数 (0〜9、a〜f) で64文字を入力します。無線LANに接続するすべての機器で同じ共有キーを設定する必要があります。工場出荷時には「PSK 12345」が入力されています。



- **パソコン(特に無線 LAN 機能内蔵のノートパソコン)によっては、特定のチャンネルに対応していないものがあります。お使いのパソコンの仕様を確認して、別のチャンネルに変更してください。**
- **WPA-PSK の暗号化は TKIP のみの対応となります。**



お使いの無線LAN機器によっては、64bit WEPは40ビット、128bit WEP は 104 ビットと表記される場合があります。

5 [保存] をクリックします。クリックすると設定が変更され、本商品が再起動します。

6 Web ブラウザを閉じます。

7 本商品と、接続されている機器の電源を切り、設定用に接続していたLAN ケーブルを外します。

8　パソコンの電源を入れ、IPアドレスをお使いの環境に合わせて元に戻します。IPアドレスの設定方法については、ユーティリティディスクに収録されている「詳細設定ガイド」の「Q&A」、「パソコンのIP アドレスを変更したい」をご覧ください。

9　本商品と各機器の電源を入れ直して、「NCView A」を起動し、カメラの画像が表示されるか確認します。「NCView A」のインストールや操作方法については、「PART4　本商品を使用する」（P.39）をご覧ください。

以上で設定は終了です。

PART 4

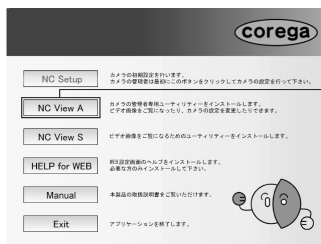
本商品を使用する

本商品を使用して画像や動画を見るには、閲覧用ソフトウェア「NCView A」をインストールする必要があります。

「NCView A」をインストールする

ここでは「NCView A」をお使いのパソコンにインストールする手順をご紹介します。

1 パソコンのCD-ROMドライブに、付属のユーティリティディスクをセットします。セットすると次のような画面が表示されますので、[NCView A] をクリックします。



クリックします。



しばらく待っても上の画面が表示されない場合は、「マイコンピュータ」のCD-ROMアイコンをダブルクリックしてください。

2 「InstallShield Wizard」画面が表示されますので、[次へ] をクリックします。

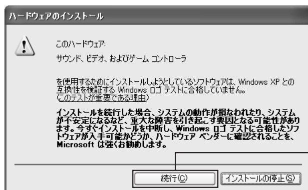
3 「使用許諾契約」の画面が表示されますので、[はい] をクリックします。

4 「インストール先の選択」画面が表示されますので、[次へ]をクリックします。ここで「NCView A」のインストール先を変更したい場合は、[参照] をクリックしてインストール先を変更してください(通常は変更の必要はありません)。

5 「InstallShield Wizardの完了」画面が表示されたら、[完了] をクリックします。



インストールの作業中に下の画面が表示された場合、[続行] をクリックしてインストール作業を続行してください(弊社にて動作確認をしております)。



クリックします。

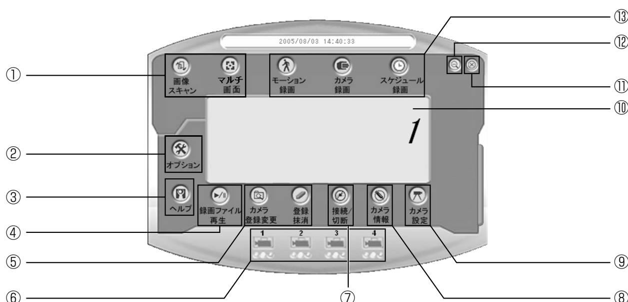
これで「NCView A」のインストールは完了です。

「NCView A」のメインウィンドウについて

「NCView A」は本商品の画像が見られるだけでなく、録画時の設定など、本商品の設定もできます。

■「NCView A」を起動する

1　［スタート］－「すべてのプログラム」－「corega Network Camera」－「NCView A」－「corega NCView A」をクリックすると、「NCView A」のメインウィンドウが表示されます。



項目	説明
①画像スキャン／マルチ画面	複数のカメラの画像を見るときに使用します。
②オプション	カメラの各種設定を行います。
③ヘルプ	ヘルプ / バージョン情報が表示されます。
④録画ファイル再生	録画ファイルを再生します。
⑤カメラ登録変更／登録抹消	登録されているカメラの変更／削除を行います。
⑥カメラアイコン	カメラの登録、切り替えを行います。
⑦接続／切断	選択したカメラに接続／切断します。
⑧カメラ情報	選択したカメラの MAC アドレス、ファームウェアバージョンなどの詳細情報が表示されます。

項目	説明
⑨カメラ設定	クリックするとメインウィンドウの右端に［モーション設定］、［詳細設定］、［ファーム更新］の３つのボタンが表示されます。各ボタンの使い方については、付属のユーティリティディスクに収録されている「詳細設定ガイド」の「PART1 NCView A でカメラを操作する」をご覧ください。
⑩表示画面	選択したカメラの情報（IPアドレス、デバイス名）や状態（On-Line/Off-Line）が表示されます。
⑪閉じるボタン	「NCView A」のメインウィンドウを閉じます。
⑫最小化ボタン	「NCView A」のメインウィンドウを最小化し、タスクバーに表示します。
⑬モーション録画 カメラ録画 スケジュール録画	カメラの画像を録画するときに使用します。



メインウィンドウの各ボタンの機能について詳しくは、ユーティリティディスクに収録されている「詳細設定ガイド」の「PART1 NCView A でカメラを操作する」をご覧ください。

■画像が見られるか確認する

「NCView A」に本商品を登録し、画像が見られるか確認してください。

1 「NCView A」のメインウィンドウで、登録したいカメラのアイコンをクリックします。例では 1 番のカメラを使用します。



クリックします。

2 ネットワークに接続されているカメラが検索され、しばらくすると一覧に表示されますので、登録したいカメラを選択し、[登録] をクリックします。



①登録したいカメラを選択します。

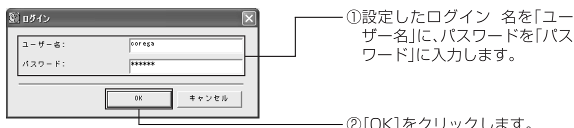
②[登録]をクリックします。



登録したいカメラが表示されないときは、[再検索] をクリックして、検索しなおしてください。それでも表示されないときは、[IP アドレス入力] をクリックして、P.27 の手順 5 で設定したカメラの IP アドレスを直接入力してください。

4

3　P.25 の手順４で設定した、ログイン名とパスワードを入力して、［OK］をクリックします。

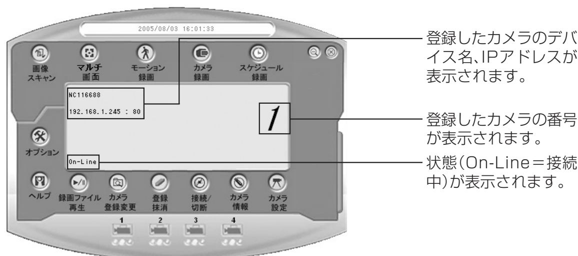


4　しばらくすると、登録したカメラの画像ウィンドウが表示されます。



※画像はイメージです

5　メインウィンドウの表示が次のように変わります。





メインウィンドウ、画像ウィンドウの各ボタンの機能については、ユーティリティディスクに収録されている「詳細設定ガイド」の「PART1 NCView A でカメラを操作する」をご覧ください。

撮影したい場所に本商品を設置する

画像が見られることを確認したら、撮影したい場所に本商品を設置してください。



付属の「はじめにお読みください」の「安全のために」をお読みになり、使用時の注意について確認してから設置してください。

●設置に適した場所

・水平で落下の恐れがない場所
・風通しのよい涼しい場所

4

●設置に適さない場所

・直射日光が当たる場所
・暖房器具の近くなど
・高温多湿の場所
・ホコリの多い場所
・水や液体がかかる恐れのある場所
・パソコンやモデムなど、発熱する機器の上
・明るすぎたり、暗すぎたりする場所
撮影した画像に白い線やノイズが入ったり、ピントが合わないことがあります。
・蛍光灯などの近く
照明のちらつきが発生し、撮影した画像にノイズが入ることがあります。

●設置するときの注意

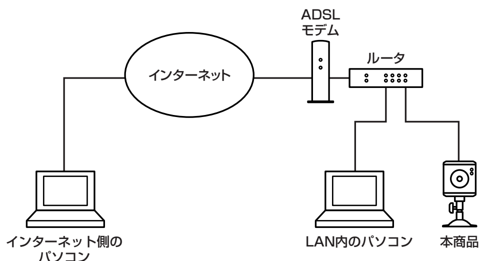
・本商品に付属のスタンドを取り付ける場合は、ねじをしっかり締めて固定してください。
・本商品を接続するLAN ケーブルは、接続に十分な長さを準備してください。
・LANケーブルやACアダプタのケーブルに、足を引っ掛けたりすることのないような場所に設置してください。

インターネット経由で画像を見るには

インターネット経由で本商品にアクセスするには、本商品に設定を行う必要があります。設定内容や設定手順は、ご使用のインターネット環境によって以下の 2 とおりの方法があります。

・ルータを使ってインターネットに接続する場合（本ページ）
・モデムおよびアクセスポイントを使ってインターネットに接続する場合（P.51）

■ルータを使ってインターネットに接続する場合



上記の図のようにルータを使用して本商品をインターネットに接続している場合、インターネット側から本商品にアクセスするにはルータのポートを開放する必要があります。ポートを開放するには次の 2 とおりの方法があります。ルータがUPnPに対応している場合は「UPnPを使用してポートを開放する」を、UPnPに対応していない場合は「UPnPを使用しないでポートを開放する（バーチャルサーバを使用する）」をご覧ください。

・UPnP を使用してポートを開放する（P.47）
・UPnPを使用しないでポートを開放する（バーチャルサーバを使用する）（P.50）



ルータを使用している場合でも、unnumberedサービスなどで本商品にグローバル IP アドレスを割り振っている場合には、UPnP やバーチャルサーバの設定の必要はありません。



弊社製品ではポート開放機能をバーチャルサーバと呼びますが、他社製品でポートフォワーディング、静的IPマスカレード、ポートマッピングなどと呼ぶ場合もあります。詳細はご使用のルータの取扱説明書をご覧ください。

● UPnP を使用してポートを開放する

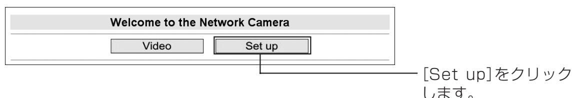
以下の手順で本商品とルータのUPnP設定を行い、ポートを開放します。

1 ルータの説明書をご覧いただき、ルータのUPnP機能を有効にします。弊社製ルータをご使用の場合、取扱説明書は弊社ホームページからダウンロードすることができます。

2 LAN内のパソコンからWebブラウザを起動し、アドレスバーに本商品のIPアドレスを入力し、[移動]をクリックします（例では工場出荷時の「192.168.1.245」を使用しています）。



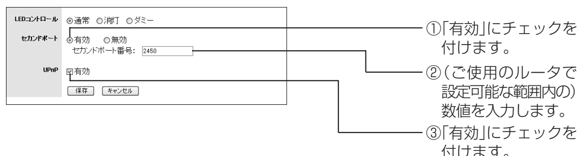
3 本商品のログイン画面が表示されたら、ログイン名とパスワードを入力してログインします。ログインすると「Welcome to the Network Camera」画面表示されますので、[Set up]をクリックします。



4 セットアップ画面の左側にある「システム設定」をクリックします。



5　右側の画面をスクロールし、「セカンドポート」項目の「有効」にチェックを付け、「セカンドポート番号」に80番以外の任意の数値を入力します。次に「UPnP」項目の「有効」にチェックを付けます。

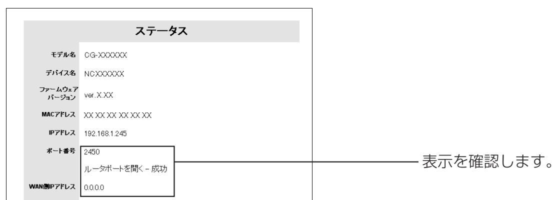




「セカンドポート番号」に設定できる数値は、ご使用のルータにより異なります。詳細はご使用のルータの説明書をご覧ください。

6　「保存」をクリックします。

7　「システムツール」－「ステータス」をクリックし、「ポート番号」項目で「ルータポートを開く－成功」と表示されていることを確認します。





「ルータポートを開く－成功」と表示されない場合は、手順5のセカンドポート番号に他の数値を入力し、再度手順5の続きから設定を行ってください。

以上で、本商品とルータのUPnPの設定は完了です。

8　インターネット側から下記の図のようにアドレスを入力することで本商品にアクセスすることができます。





ご使用のルータによっては、ルータと同じLAN内のパソコンからWAN側のIPアドレス（グローバルIPアドレス）で本商品にアクセスできない場合があります。可能な限り別回線でインターネット側からご確認ください。別回線の用意が難しい場合は、携帯電話からアクセスすることができます。ユーティリティディスクに収録の「詳細設定ガイド」の「本商品の画像を携帯電話で見る」をご覧ください。

4

9　ルータに割り振られるグローバルIPアドレスが動的に変わる環境（ADSLやCATVなど）の場合は、グローバルIPアドレスが変わるたびに本商品にアクセスするためのアドレスが変わってしまいます。そのような環境ではダイナミックDNSサービスをご使用になることをお勧めします。ルータがダイナミックDNSに対応している場合は、ルータのダイナミックDNSをご使用ください。詳細はご使用のルータの取扱説明書をご覧ください。ルータがダイナミックDNSに対応していない場合は、本商品のダイナミックDNSをご使用ください。詳細は「ダイナミックDNSを使用する」（P.55）をご覧ください。

10　ダイナミックDNSを使用した場合は、以下の図のようにアドレスを入力することで本商品にアクセスすることができます。



●UPnPを使用しないでポートを開放する(バーチャルサーバを使用する)
以下の手順でルータのポートの開放と確認を行います。

1　ルータの取扱説明書をご覧いただき、ルータから本商品の 80 番ポートへポートを開放する設定を行ってください。



弊社製ルータをお使いの場合は、バーチャルサーバの設定をご覧ください。ルータの取扱説明書は弊社ホームページからダウンロードすることができます。

2　以上で、ルータのポートの開放は完了です。

3　インターネット側から下記の図のようにアドレスを入力することで本商品にアクセスすることができます。

グローバルIPアドレス
アドレス(D) 123.456.789.000 移動



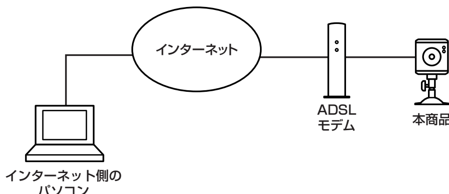
ご使用のルータによっては、ルータと同じLAN内のパソコンからWAN側のIPアドレス（グローバルIPアドレス）で本商品にアクセスできない場合があります。可能な限り別回線でインターネット側からご確認ください。別回線の用意が難しい場合は、携帯電話からアクセスすることができます。ユーティリティディスクに収録の「詳細設定ガイド」の「本商品の画像を携帯電話で見る」をご覧ください。

4　ルータに割り振られるグローバルIPアドレスが動的に変わる環境（ADSLやＣＡＴＶなど）の場合は、グローバルIPアドレスが変わるたびに本商品にアクセスするためのアドレスが変わってしまいます。そのような環境ではダイナミックDNSサービスをご使用になることをお勧めします。ルータがダイナミックDNSに対応している場合は、ルータのダイナミックDNSをご使用ください。詳細はご使用のルータの取扱説明書をご覧ください。ルータがダイナミックDNSに対応していない場合は、本商品のダイナミックDNSをご使用ください。詳細は「ダイナミックDNSを使用する」（P.55）をご覧ください。

5　ダイナミックDNSを使用した場合は、以下の図のようにアドレスを入力することで本商品にアクセスすることができます。



■モデムおよびアクセスポイントを使ってインターネットに接続する場合



上記の図のようにモデムなどで本商品を直接インターネットに接続している場合、ポートを開放する必要はありません。インターネット側から下記の図のようにアドレスを入力することで本商品にアクセスすることができます。





本商品に割り振られるグローバルIPアドレスが動的に変わる環境（ADSLやCATVなど）の場合は、グローバルIPアドレスが変わるたびに本商品にアクセスするためのアドレスが変わってしまいます。そのような環境ではダイナミックDNSをご使用になることをお勧めします。詳細は「ダイナミックDNSを使用する」（P.55）をご覧ください。

実際にインターネット経由で画像を見る

「NCView A」でインターネット経由で画像を見るには、次のようにします。

1 「NCView A」を起動します。
2 メインウィンドウが表示されたら、登録したいカメラのアイコンをクリックします。
3 ［IP アドレス入力］をクリックします。





インターネットを経由している場合は、カメラは自動で検索されません。

4 ダイナミックDNS サイトで取得したドメイン名を入力し、［登録］をクリックします。ポートを指定している場合はドメイン名の後に「：（指定するポート番号）/」（工場出荷時は「80」です。図の値は「:80」です）を入力してください。

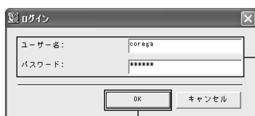


※画面は入力例です。



ドメイン名を取得していない場合は、ルータもしくは本製品の WAN 側 IP アドレスを入力してください。

5　P.25の手順4で設定したログイン名とパスワードを入力し、[OK]をクリックします。



①設定したログイン名を「ユーザー名」に、パスワードを「パスワード」に入力します。

②[OK]をクリックします。

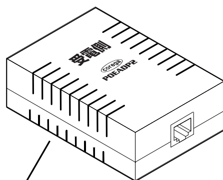
しばらくすると、登録したカメラの画像ウィンドウが表示されます。

PoE アダプタを使って接続する

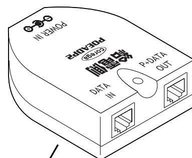
別売の PoE アダプタ（CG-POEADP2）を使用すれば、コンセントから離れた場所にも本商品を設置することができます。

■ PoE アダプタについて

PoEアダプタは、コレガのネットワーク製品に接続して電源を供給するアダプタです。本商品に接続すれば、コンセントから離れた場所にもカメラを設置することができます。



受電アダプタ



給電アダプタ

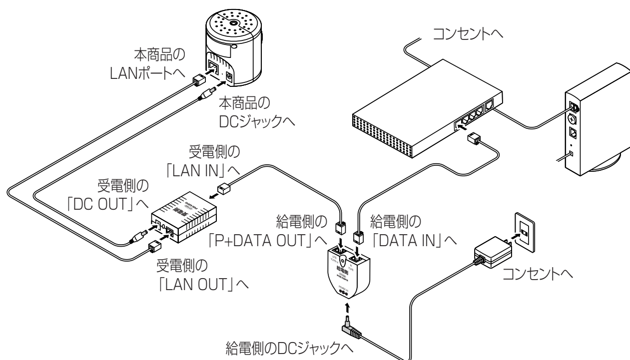


必ずPoEアダプタ専用ACアダプタをご使用ください。誤って別のACアダプタを使用すると、故障または破損する恐れがあります。

4

■PoE アダプタとの接続例

本商品との接続は次の接続例を参考に行ってください。





- **PoEアダプタ専用ACアダプタを本商品に接続しないでください。故障または破損する恐れがあります。**
- **PoEアダプタの給電側の「P+DATA OUT」および受電側の「LAN IN」に、ハブやパソコンなどを接続しないでください。故障または破損する恐れがあります。**
- **LANケーブルにはカテゴリ5のUTPケーブルをご使用ください。コレガ製品をご使用されることをおすすめします。**
- **PoEアダプタにはリピータ（スイッチ）の機能はありません。接続するネットワーク機器（ルータやハブなど）から、PoE アダプタを経由した本商品までの LAN ケーブルの全長が 100m を超えないように注意してください。**

付録

■ダイナミック DNS を使用する

プロバイダなどから割り振られるグローバルIPアドレスが動的に変わる場合には、ダイナミックDNS サービスを使用することで、IP アドレスではなくドメイン名で本商品にアクセスすることができます。モデムおよびアクセスポイントを使ってインターネットに接続する場合や、接続しているルータにダイナミック DNS 機能がない場合は、本商品のダイナミック DNS を設定することでダイナミック DNS を使用することができます。



- **ダイナミックDNSサービスを使用するには、ダイナミック DNS サービスのサイトへの登録が必要になります。**
- **本商品では、「DynDNS（英語、無料）」「IvyNetwork（日本語、有料）」「@NetDDNS（日本語、有料）」の 3 つのいずれかのダイナミック DNS サービスを使用できます。**
- **詳しい解説をホームページからご覧になることができます。コレガのホームページ（http://corega.co.jp/）から「製品情報」ー「導入ナビゲーション」の順に選択し、お助けコレガくんシリーズ「ダイナミックDNS活用ガイド」をご覧ください。**



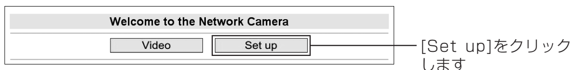
ダイナミック DNS サービスの登録は、お客様の自己責任で行ってください。登録に関して弊社では一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

1 一旦本商品と設定用パソコンを直接接続します。設定用パソコンからWebブラウザを起動し、アドレスバーに本商品のIPアドレス（例では工場出荷時の「192.168.1.245」）を入力し、[移動]をクリックします。



4

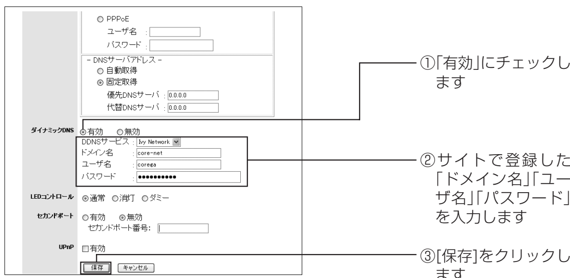
2　本商品のログイン画面が表示されたら、ログイン名とパスワードを入力してログインします。ログインすると「Welcome to the Network Camera」画面表示されますので、[Set up]をクリックします。



3　セットアップ画面の左側にある「システム設定」をクリックします。



4　右側の画面をスクロールし、「ダイナミック DNS」項目の「有効」にチェックを付け、ダイナミック DNS サービスのサイトを選択します。サイトで登録した「ドメイン名」「ユーザ名」「パスワード」を入力し、[保存]をクリックします。



5　最後に、別のインターネット回線から Web ブラウザのアドレスバーにダイナミックDNSサービスで登録したドメイン名を入力して本商品にアクセスできれば本商品のダイナミックDNSの設定完了です。

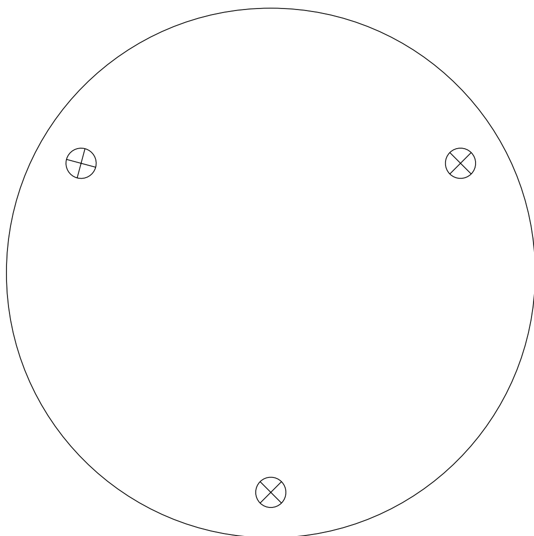


本商品のセカンドポートの設定を行っている場合は、ドメイン名とセカンドポート番号を入力します。

4

■プラスチックアンカ取り付け用ネジ穴ガイド

付属のプラスチックアンカを取り付ける場合に、コピーして切り取ってお使いください。



おことわり

・本書は、株式会社コレガが作成したもので、全ての権利を弊社が保有しています。弊社に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。
・予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますがご了承ください。
・改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

2005年9月　初版
2006年6月　第二版

【弊社ホームページのご案内】

弊社ホームページでは、各種商品の最新の情報、最新ファームウェア、よくあるお問い合わせなどを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

http://corega.jp/

【製品に関するご質問は…】

製品のご質問はコレガサポートセンタまでお問い合わせください。お問い合わせの際には弊社ホームページ掲載の「お問い合わせ用紙」または下記の必要事項をご記入いただいた書面を用意して、メール、FAX、電話でのいずれかでお問い合わせください。

■お問い合わせ先

〈corega　サポートセンタ〉

Mailサポート:下記URLからユーザ登録をした後、お問い合わせください。

http://corega.jp/faq

TEL.045-476-6268

FAX.045-476-6294

〈受付時間〉

10:00～12:00、13:00～18:00　月～金（祝・祭日を除く）

※サポートセンタへのお問合せは日本語に限らせていただきます。

This product is supported by Japanese only.

■必要事項

あらかじめ下記の必要事項を控えておいてください。

・製品名
・シリアル番号（S/N)、リビジョンコード（Rev.）
・お名前、フリガナ
・連絡先電話番号、FAX 番号
・購入店
・購入日付
・お使いのパソコンの機種
・OS
・お問い合わせ内容（できる限り詳しくお知らせください）
・接続構成



本書は再生紙を使用しています。